

## 膵腎同時移植と腎臓単独移植について

### 1. 改正案

以下の内容を選択基準に盛り込む。(膵・膵島移植研究会からの提案)

(内容)

- 膵臓移植の第一候補(意志有りで最終的に第一候補となった場合)が、腎移植後膵移植または膵単独移植希望者(レシピエント)で、レシピエント側の条件で移植が断念された場合、以後の選択は腎移植後膵移植または膵単独移植希望者(レシピエント)から行う。
- 膵臓移植の第一候補(意志有りで最終的に第一候補となった場合)が、膵腎同時移植希望者で、臓器摘出術の開始以降に腎臓が移植に適さないと判明し、当該希望者が膵単独移植を希望しない場合、以後の選択は腎移植後膵移植または膵単独移植希望者から選択を行う。
- 膵臓移植の第一候補(意志有りで最終的に第一候補となった場合)が、膵腎同時移植希望者で、臓器摘出術の開始以降に膵臓が移植に適さないと判明した場合、腎臓は当該移植希望者ではなく、腎臓移植希望者(レシピエント)選択基準で選択された腎臓移植希望者に配分する。

(検討事項)

- 上記の選択基準は暫定的なものであるか。
- 暫定的なものとした場合には、将来的に考えられる案の検討を継続する。

### 2. 将来の課題

(考えられる改正例)

- 膵腎同時移植希望者は「腎臓移植希望者(レシピエント)選択基準」での選定を行う。
- 膵腎同時移植希望者には、生命予後に応じた加点を行う。

(この改正例に必要な検討事項)

- 膵腎同時移植希望者にどのくらい加点をするか、シミュレーションが必要。
- 腎臓移植と膵腎同時移植希望者では、選択基準が異なるため、配分システムが異なる(腎：地域配分、膵：全国)。それをどのように一致させるか必要がある。